

企画競争実施結果の公表について

件名 鶴川・沙流川洪水予測システム情報外提供
 特定企業 企業名 (一財)日本気象協会北海道支社
 住所 北海道札幌市中央区北4条西23丁目
 代表者 支社長 川上 俊一
 決定日 令和5年3月6日

令和5年3月13日
 北海道開発局
 室蘭開発建設部

評価項目	評価の着眼点			(一財)日本気象協会北海道支社
	項目	判断基準	配点	得点
企画提案書 提出要件	予報業務の許可	気象業務法が定める予報業務の許可を気象庁長官から得ているもの。	数値化しない	-
	同種業務等の実績	提案者の同種業務の実績は、企画競争参加資格の要件を確認するために用いられるため、これらを満たさない者の企画提案書の特定は行わない。 ・国、地方公共団体、特殊法人等、地方公社、公益法人、又は大規模な土木工事を行う公益民間企業へ気象に関する情報の提供を行う業務。	数値化しない	-
ワーク・ライフ・ バランス等の推進 に関する指標の適 合状況	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定等(えるぼし・プラチナえるぼし認定企業、一般事業主行動計画策定企業)	「プラチナえるぼしの認定」、「えるぼしの認定」1段階目、2段階目、3段階目(いずれの段階においても「評価項目3:労働時間等の働き方」の基準を満たしていることが必要。)を取得している場合及び一般事業主行動計画(計画期間が満了していないものに限る。)を策定・届出(常時雇用する労働者の数が100人以下の企業に限る。)をしている場合には優位に評価する。	5 1 2 3 0.5 1	3
	次世代育成支援対策推進法に基づく認定(くるみん・プラチなくるみん・トライくるみん認定企業)	「くるみん認定」(平成29年3月31日までの基準、平成29年4月1日から令和4年3月31日までの基準又は令和4年4月1日以降の基準)、「プラチなくるみん認定」又は「トライくるみん認定」を取得している場合には優位に評価する。	2 1 2	
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づく認定(コースエール認定企業)	「コースエール認定」を取得している場合には優位に評価する。	1	
	複数認定に該当する場合は、最も配点が高い区分により加点を行う。		2	
業務実施体制	業務分担及び業務実施体制の妥当性	業務実施に必要な分担が的確に記載されている。なお、下記に該当する場合は特定しない。 業務の分担構成が不明確又は不自然な場合。 再委託の内容が主たる部分の場合、再委託理由が記載されていない場合又は不明確な場合。 記載がない場合。	数値化しない	-
	情報収集・提供機器の概要	本業務について必要な気象庁の発表する各種情報を受注者が直接受信できるシステムを保有するとともに、情報提供を行うシステム(ソフト)を有していること。	数値化しない	-
予定管理責任者	技術者の資格	下記の順位で評価する。 技術士(総合技術監理部門〔建設-河川、砂防及び海岸・海洋、地球物理及び地球化学〕、建設部門〔河川、砂防及び海岸・海洋〕又は応用理学部門〔地球物理及び地球化学〕に限る。)とともに気象予報士の資格を有する者。 RCCM(河川、砂防及び海岸・海洋)の資格を有し、「登録証書」の交付を受けている又はRCCM(河川、砂防及び海岸・海洋)と同等の能力を有するとともに気象予報士の資格を有する者。なお、「RCCMと同等の能力を有する者」とは、RCCM試験に合格しているが転職等により登録ができない立場にいるものとする。 気象予報士の資格を有する者。 なお、からに該当しない場合は特定しない。	10 5 0	0
	過去10年間の同種業務の実績	・同種業務(国、地方公共団体、特殊法人等、地方公社、公益法人、又は大規模な土木工事を行う公益民間企業へ気象に関する情報の提供を行う業務) 同種業務の実績5件以上 同種業務の実績3~4件 同種業務の実績1~2件	5 3 0	5
予定業務担当者	業務担当者の資格	下記の順位で評価する。 気象予報士の資格を有する者が3名以上記載 気象予報士の資格を有する者が1~2名記載 なお、気象予報士の資格を有するものがない場合は特定しない。	10 0	10
	過去10年間の同種業務の実績	・同種業務(国、地方公共団体、特殊法人等、地方公社、公益法人、又は大規模な土木工事を行う公益民間企業へ気象に関する情報の提供を行う業務) 同種業務の実績5件以上 同種業務の実績3~4件 同種業務の実績1~2件	5 3 0	5
小計			35	23
特定テーマに対する 企画提案 沙流川流域の積雪 包蔵水量を踏まえた、 流出量予測の精度向上の ための課題及び対応の 留意点について	的確性	地形・流域・気象・降雨特性などの与条件との整合性が高い場合に優位に評価する。 着目点・問題点・解決方法等が適切かつ論理的に整理されており、本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合に優位に評価する。	5	4
	実現性	提案内容に周辺システムとの整合が図られ説得力がある場合、優位に評価する。 提案内容を裏付ける類似実績などが明示されている場合、優位に評価する。	5	4
	独創性	情報提供に関する優れた代替案等が提案されている場合、優位に評価する。	5	0
	参考見積	業務コストの妥当性 提示した業務規模と大きくかけ離れているか又は、提案内容に対して見積が不適切な場合には特定しない。	数値化しない	-
小計			25	15
結果	評価点計(配点合計60点)			38